

令和5年度 東京都立多摩高等学校学校経営報告 令和6年3月31日

1 スクール・ミッション

学習・学校行事・部活動や地域連携等を通して、主体的にかつ相互に成長し続けることで、集団への帰属意識や他者への思いやりの心を育み、社会に貢献できる人材を育成します。

2 教育目標

1 知、徳、体の調和のとれた発達をはかり、豊かな人間性を培う。  
2 生涯教育、生涯学習の基礎の確立をはかり、社会の変化に主体的に対応できる能力を育てる。  
3 社会の一員としての義務と責任を自覚し、主体的に貢献できる人間を育成する。

(1) グラデュエーション・ポリシー(卒業までに身に付ける力)  
卒業後に役立つ人生100年を生き抜く3つの力と12の能力を育成  
○前に踏み出す力: 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力  
主体性・働きかけ力・実行力  
○考え抜く力: 疑問を持ち、考え抜く力 課題発見力・計画力・創造力  
○チームで働く力: 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力  
発信力・傾聴力・柔軟力・規律性・情報把握力・ストレスコントロール力

(2) カリキュラム・ポリシー(教育の方針)～生徒が相互に成長し続ける学校～  
○生徒が参加する分かる授業を展開し、授業評価を活用して改善する。○スモールステップによる達成感を育み、自学自習の意識を高揚する。○組織的なキャリア教育を通じ、生徒の学力向上、自律的な生活態度の育成及び主体的な進路希望実現を支援する。○学校行事や委員会活動・部活動等を通して、成功体験を積み、他者との関わり方を育てる。○ボランティア活動等の地域貢献活動を通じ、社会との関わりを深め、主体的に参画する力を養う。○異文化交流等を通じて、相互理解を深め多様性を尊重する精神を醸成する。○組織的な教育相談体制を整え、いじめや体罰のない明るく、安全・安心に生活できる学校として、インクルーシブの精神を養う。

(3) アドミッション・ポリシー(求める生徒像)  
本校の教育方針を理解し、本校への入学の意志が明確な生徒  
○自身の成長のために学び続けたいに役立てよう、進路実現への取組ができる生徒  
○部活動・生徒会活動・学校行事・ボランティア活動を通して、学校生活に熱心に取り組むことができ、活動を通して社会性を身に付けることができる生徒  
○社会のルール・マナーを守り他者や地域の信頼を得ることができる生徒

4 中期目標と方策

I 学習指導  
【目標】分かる、学びたくなる授業実践  
【方策】1 生徒が分かったことを実感できる授業の実践 2 生徒自ら学びたくなる指導 3 デジタル技術を活用した学習の推進 4 授業評価に基づく授業改善 5 OJTによる授業改善プロジェクト推進

II 生活指導  
【目標】規範意識と社会性の醸成  
【方策】1 自主自律の生活態度の育成 2 いじめや体罰のない明るい学校の実現 3 国際理解教育、ボランティア精神の育成の充実 4 特別支援教育の充実

III 進路指導  
【目標】キャリア教育の充実による希望進路の実現  
【方策】1 進路指導計画に基づいたキャリア教育の実践 2 関係機関・地域と連携したキャリア教育の実践 3 キャリアアップによる自信の高揚

IV 特別活動  
【目標】多摩高校への帰属意識・貢献意識の高揚  
【方策】1 感動体験による意識の高揚 2 地域と連携した意識の高揚 3 100周年記念式典の計画的な準備

V 心身の健康づくり  
【目標】健康づくりの推進、安全・安心に生活できる学校の実現  
【方策】1 感染防止対策の徹底 2 体力向上の取組 3 個に応じた安全・安心に生活できる学校の実現

VI 募集・広報活動  
【目標】保護者等との連携推進、広報活動の推進  
【方策】1 保護者等への情報発信の強化 2 広報活動の充実・改善

VII 学校経営・組織体制  
【目標】より良くしていこうとする「組織風土」づくり  
【方策】1 各委員会の充実 2 校内研修の充実 3 法規法令の遵守 4 経営企画室と連携し組織的に業務効率の良い体制づくり 5 各種規程の見直し

5 今年度の重点目標と方策

領域	目標	数値目標に対する成果と課題
I 学習指導	目標	生徒が分かり、学びたくなる授業を実践し、基礎学力定着だけでなくさらに上を目指す生徒を育成する。
	方策	1 全教職員が「分かる、学びたくなる授業」の授業改善を図る。 2 自ら学ぶ仕掛けを意図的に取り入れた授業で自学自習の定着 3 デジタル機器の利活用による、生徒の学習意欲の向上 4 年2回の授業評価と全教職員による相互授業観察 5 多摩研、教科会、教科主任会を活用した組織的な授業改善
II 生活指導	目標	自主自律の心を育み、行動する生徒を育成する。
	方策	1 全教職員体制で一貫した生活指導を実施 2 年3回のいじめアンケートと生徒に人権意識を醸成する道徳教育の推進 3 生徒が校則を考える取組の実践 4 週1回ケース会議実施
III 進路指導	目標	キャリア教育を推進し、進路希望を具体化した進路決定率を維持・向上させる。
	方策	1 1年次より改訂「進路の手引き」を活用し、三者面談、奨学金説明会等を取り入れ、進路意識を向上させる。 2 STEAM教育の視点を取り入れた地域連携でのキャリア教育 3 堅実な学び直しや一人1回以上検定試験の受検を奨励し、生徒に自信をもたせ、キャリアアップへの意欲を向上させる。
IV 特別活動	目標	学校行事、部活動、生徒会活動、ホームルーム活動を活性化
	方策	1 組織的な指導体制の充実を図るとともに、校内外での生徒の主体的な活動機会を確保し、生徒の自立心を育成。 2 地域連携の強化により、生徒の社会貢献への意欲を向上 3 伝統校として100周年記念式典を適正に実施。
V 健康づくり	目標	生徒理解に基づいた適切な手立てで、中途退学者の減少。
	方策	1 スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー等との組織的な相談体制、外部機関へ適切につなげる仕組みを構築 2 「エンジョイスポートプロジェクト」や体育的な学校行事(奥多摩ウォーキング等)の実施による、体力向上への意識の向上
VI 広報活動	目標	広報活動を改善し、地域から選ばれる学校として、応募倍率向上
	方策	1 学校ホームページに関する研修、学校公式動画の活用で学校見学会・学校説明会の参加者の向上、学校パンフレットの改善 2 出前授業や中学校での学校説明会の実施など地域の中学校訪問の実施と内容の改善。
VII 学校経営・組織体制	目標	より良くしていこうとする「組織風土」づくりを具現化する。
	方策	1 企画調整会議と分掌・学年会議、各委員会の実効的な運営 2 「多摩研(若手教員)」や将来構想委員会、プロジェクトチームから、具体的な課題とその改善策を検討し企画調整会議に提示。 3 校内研修等により法規法令の遵守の意識を向上する。 4 自律経営推進予算や学校徴収金、生徒会予算の円滑な運用や教職員の超過勤務縮減の意識の向上。5 校内規定の改善